

DVD 静岡の未来「浜岡原発の今とこれから」を作製

原発・新エネルギー検討勉強会で浜岡原発の安全性を第一義に検証した DVD 静岡の未来「浜岡原発の今とこれから」を作製した。静岡新聞(10/22 朝刊)で紹介されたのでご存知の方もおいでになるかと思う。

事務所への問合せをみると、原発への関心の度合いには地域差がある。浜岡原発が足もとにある御前崎市を筆頭に浜岡原発30キロ圏の7市町(磐田市、袋井市、島田市、藤枝市、焼津市、森町、吉田町)が中心だ。県東部地域はむしろ静岡市からの問合せも少ない。

「これが浜岡原発の現在位置」と得心せざるをえない。つまり、浜岡原発はまだまだ他人事で、全県民的課題になっていないということだ。私は県政報告 ARECO 秋号で福島原発事故の収束と廃炉を進めるためには国民の力なくしてはあり得ないと書いたが、残念ながら道険しである。

また、問合せの段階でこんな意見もあった。「天野さんは自民党だから原発賛成の DVD でしょ」「知事の意向で作ったのではないか」等々。「まずは、DVD をご覧になってからご意見ください」と話したが、見ていただければおのずと私の立ち位置は理解してもらえると信じている。

もう一つ、これも県政報告 ARECO 秋号に書いた小泉純一郎首相の「原発ゼロ」発言だ。「放射性廃棄物の最終処分にあてもなく原発を進めるのは無責任」「今、政治が原発ゼロ方針を打ち出さないと将来も難しくなる」という発言はまったく正論だと私は思う。

しかし、なぜか小泉さんに賛同し、呼応する動きが自民党に出てこない。かといって正面切って小泉さんを批判するわけでもない。自民党は随分、息苦しい政党になってしまったものだ。自由で幅広い意見があるところが自民党の最も良いところだっ

たのだが……。

党執行部に反旗を翻せば、選挙で公認を外し刺客を送り込む。御身大切のあまり、静観、無視を決め込む国会議員。こんな議員を選んだツケは必ず我が身に返ってくるはずだ。

静岡県議会議員

天の一